

**これまでのご意見を踏まえた対応状況**  
**【やまなし自然首都圏構想研究会】**

**令和3年3月10日**  
**山梨県**

## ➤ 「まち」の施策①

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に囲まれたリモート作業に適した施設があると良い</li> <li>・ベンチャーの誘致のためには、廃校などを利用しながら、デジタルインフラを整備し、安い家賃で提供するとともに、まずは中核となる企業を誘致することが重要</li> </ul>	ワークスペースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーケーションモデル事業費補助金（R2.9月補正予算）</li> <li>・二拠点居住拠点整備推進事業費補助金（R2.9月補正予算）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者が空き家を貸したくなるような仕組みが作れると良い</li> <li>・行政がもっと関与して空き家を回す仕組みを作れば、移住希望者を相当受け入れることができる</li> <li>・所有、利用契約に係るコストが低い不動産の用意が必要</li> </ul>	空き家利活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家総合対策事業費（R3.当初予算（継続事業））</li> <li>・低利用空き家情報収集事業費（R2.9月補正予算）</li> <li>・二拠点居住推進空き家活用事業費補助金（R2.9月補正予算）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア駅から県内各地へのアクセスなど、オンデマンドやカーシェアリングなども活用しながら、交通の利便性を向上させていくことが必要</li> <li>・観光客への最も効率的で安全な滞在方法の情報提供が必要であり、観光型MaaSを導入していくべき</li> <li>・MaaSの推進はもはや実験ではなく、かなり本格的に取り組んでいくべきこと</li> <li>・移動に係る安心感、セーフティネットをどう作っていくかが非常に重要なポイント（ex.エストニアの首都タリンではMaaSを無料化した結果人口が増加）</li> <li>・県内の方たちの移動を含めた新しいMaasの構成を考えていくべき</li> <li>・MaaSにより、移動の利便性向上とともに地域の情報を集約</li> </ul>	二次交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなし観光MaaS整備事業費（R2.9月補正予算）</li> <li>・リニア駅前エリア整備検討事業費（R3.当初予算）<sup>①</sup></li> </ul>

➤ 「まち」の施策②

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県有地を活用していくことが必要</li> </ul>	事業用地としての県有地の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県有地を活用した新たな企業活動等の場創出事業費（R2.9月補正予算）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな病気が来ても、どういう対策を打つのかということも踏まえてやっていかなければいけない</li> </ul>	感染症に強い社会・経済の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やまなしグリーン・ゾーン構想推進事業費（R2）</li> <li>・ やまなしグリーン・ゾーン認証取得促進支援事業費（R2.2月補正）</li> <li>・ やまなしグリーン・ゾーン認証制度運営事業費（R3.当初予算）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスを地方に移していくためには、オフサイトミーティングや戦略会議、学会の誘致など、人や情報が集まり、刺激を受けられる環境が必要</li> <li>・ 山梨で社員研修を行うような仕組みづくりが大事</li> <li>・ 創造的な活動のため、リアルで熱量を持って活動する場所が必要であり、それが山梨にあると良い</li> <li>・ 観光によって山梨を知ることが移住のきっかけとなるものであり、移住意欲を喚起していく取り組みが必要</li> <li>・ 移住者やその希望者に地域に馴染んでもらうため、体験型プログラムやアクティビティ、多様なコミュニティといったものが重要になってくるのではないかと</li> </ul>	多様な体験プログラム・アクティビティの造成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークーション利用者等農作業体験メニュー開発支援事業費補助金（R3.当初予算）<sup>新</sup></li> <li>・ 屋外・自然で楽しむ家族向けアクティビティ開発支援事業費（R2.9月補正予算）</li> <li>・ 森林セラピー基地づくり事業費（R2.9月補正予算）</li> <li>・ 農泊地域魅力磨き上げ事業費補助金（R2.9月補正予算）</li> </ul>

➤ 「ひと」の施策

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者と市民の溝をどう埋めていくかということが大事</li> <li>・外部の人の受け入れのため、地域の理解の醸成が必要</li> <li>・受け入れに際して山梨は良い、受け入れるから是非来てくださいというところに持っていくということが重要</li> </ul>	<p>地域で移住者等を温かく迎え入れる環境づくりの活動への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住コンシェルジュチーム活動促進事業費補助金 (R3.当初予算)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なコミュニティを作り、レストランやオフィスなどで多くの情報が入る仕組みを作っていくべき</li> <li>・最新の情報が入り、社会から取り残されることが無いような地域のコミュニティの作り方を考えて行くべき</li> <li>・来ていただいたコミュニティを、地元とのインターフェースも作りながら、なおかつそのコミュニティを重要視する形での仕組み構築が必要</li> <li>・コミュニティについて、ローカルの良さを生かしていくことが重要</li> <li>・地域に面白い人たちがコミュニティとしているかということが重要であり、ここについてケアしていくべき</li> <li>・人の受け入れのために最も問題となるのがコミュニティ。人・情報が集まり、悩みや課題を解決できるコミュニティづくり、またそのコミュニティの核となる人材の育成が必要</li> </ul>	<p>地域のコミュニティの核となる人材の発掘・育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コア人材育成推進事業費 (R3.当初予算)<sup>①</sup>(新)</li> <li>・ふるさと山梨定住機構の機能拡充 (R3)<sup>①</sup>(新)</li> </ul>

➤ 「しかけ」の施策

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住の相談に来た方から、県内のシェアオフィスやコワーキングスペースの情報をまとめたポータルサイトが欲しいという声がある</li> </ul>	各段階における情報の一元的な提供、充実したサポート・フォローアップの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やまなし未来創造ポータルサイト（仮称）構築事業費（R2.9月補正予算）</li> <li>・ 二拠点居住推進センターの設置</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国が自然が豊かだという中で誘致をしている中、山梨を選んでもらうためのプロモーションが重要</li> <li>・ 山梨という選択肢がもっと自然に出てくるようにアピールしていくべき</li> <li>・ 感染症に対して安全・安心、自然環境豊かな山梨をどのように伝えていくかも大事</li> </ul>	積極的なプロモーションの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二拠点居住プロモーション事業費（R3.当初予算）<sup>①</sup></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拠点を山梨に持ってきてもらうため、生活してみても良かった、行ってみたら良かったという経験をしてもらうことが必要</li> <li>・ 移動のコストへの支援があると良い</li> </ul>	移動・滞在等に要する経費の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サテライトオフィス等お試し体験事業費補助金（R3.当初予算）<sup>①</sup></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所有、利用契約に係るコストが低い不動産の用意が必要</li> </ul>	企業のオフィス・社宅整備等に要する経費の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業集積促進助成金（R2 拡充）</li> </ul>

➤ 本県の高付加価値化を図るための主な施策・事業

ご意見	施策の方向性	具体的事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5G環境を早期に整備していくべき</li> <li>・ インターネット環境、情報環境、教育環境を整えることで、山梨県が地方に住みたい人々の受け皿となることが可能</li> <li>・ 教育環境や医療環境が充実していることが子育て世代など、様々な世代を惹きつける魅力になる</li> <li>・ 教育や医療などの基本的なところは通信インフラに加えてマスト</li> </ul>	基盤的な生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数教育推進事業費（R3.当初予算）<sup>新</sup></li> <li>・ やまなし教育環境・介護基盤整備基金事業費（R3.当初予算）<sup>新</sup></li> <li>・ 第5世代移動通信システム（5G）普及・普及促進事業費（R2.9月補正予算）</li> <li>・ 遠隔診療棟体制整備促進事業費（R2.4月補正予算）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県のブランディング、訴求ポイントをしっかりさせていくことが重要</li> </ul>	ブランディングの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーポレートブランド「やまなし」推進事業費（R3.当初予算）<sup>新</sup></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化・アートを絡めた観光を推進していくべき</li> <li>・ 山梨に来てもらい、文化的なところも含めて経験してもらい、学んでもらう中で、それがきっかけで首都機能の一部移転も考えられるようになる</li> <li>・ 自然だけでなく、アートと文化、アート&amp;ウェルネスといった切り口も重要</li> <li>・ 有名な個人シェフを誘致し、県内に美味しいレストランを増やしていくことが必要</li> <li>・ 芸術は人のためになること、人の未来を考えると、そしてコミュニティの核となること</li> <li>・ すべての芸術は生きる喜びを表現している。コロナ禍にあって、芸術を幅広く人々に届けることによって、心を正しい状態に向けていく、前向きな状態に向けていくことができる</li> </ul>	文化芸術の活用や美食ブランドの創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美術館等を中核とした文化クラスター推進事業費（R2.9月補正予算、R3.当初予算）</li> <li>・ やまなし美食ブランド創造事業費（R3.当初予算）</li> <li>・ 文化資源活用モデル創出事業費（R3.当初予算）<sup>新</sup></li> </ul>

**➤ 今後検討する事業**

- 子育て世代が一定の期間山梨で暮らすことになった際、子どもが山梨で小中学校に通え、出席日数が合算できるといった教育体制の整備
- 移住者へのコンシェルジュのような役割を担うことも踏まえ、画面付きのA Iスピーカーを使いながら、M a a Sや遠隔医療を誰でも利用できる仕組みづくり
- 山梨に興味を持ってもらうため、債券の募集などマーケットから資金を調達できる仕組みの構築
- ふるさと納税や投資のモデルを組み合わせながら、ワーケーションや二拠点居住につながる山梨県との関係を創出
- 山梨はサマーキャンプに向いており、サマーキャンプを推進
- 地元の人々の誇り、シビックプライドの醸成
- 県内における二拠点居住者の把握